

令和元年11月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和元年11月29日（金）午後1時30分～午後2時45分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	藤原 健一
教育委員	野村 道彦
	吉田 加代子
	安田 優二
	多田 好江
事務局	
教育総務課長	片山 正幸
こども教育課長	楠田 千晴
こども教育課参事	磯田 英昭
生涯学習課長	中村 和弘
教育総務課主査	大城 優

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した案件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に多田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

10月24日から11月28日までの期間(前回の教育委員会～昨日)に開催、出席した会議・行事等について資料により報告

【質疑内容】

(安田委員)

先ほど教育長からB&G全国教育長会議の報告がありました。「特A」の評価を受けられていることもあり、香住B&G海洋センターの利用者も多いことと思います。

最近、センター内のトレーニング器具を定期的にご利用される高齢者の方が増えてきているようです。トレーニングルームを見たところ、ストレッチ等をするスペースが無いようですので、安全面に十分配慮する意味でも、利用状況等を再度確認していただきたいと思います。

(教育長)

わかりました。現在、香住B&G海洋センターをたくさんの高齢者の方々に利用していただいていますので、事故等が起こらないよう安全面について十分対策をさせていただきます。

6 協議事項

(1) 香住第二中学校の統合に関する懇談会について

(教育総務課長)

11月26日に実施した「香住第二中学校の統合に関する懇談会」の概要について説明

→出席者は78人。うち校区民が65人(うち保護者が43人)。発言者は15人

→11月28～29日に掲載された2種類の新聞記事の内容を紹介

→校区内における全世帯アンケートについて説明(12月12日に配付予定)

【協議内容】

(野村委員)

私も懇談会に出席させていただきましたが、先ほど読み上げられた新聞記事の内容の通りだと思っています。当日出席された保護者の皆さん方から頂戴したご意見からも、香住第二中学校の統合問題は待ったなしの課題であると感じました。

保護者の皆さん方からのご意見は、子どもたちにもう少し多い人数の中で学校生活を過ごさせてやりたい、そのためにも近隣の中学校との統合について早急に動いてほしいという内容でした。特に「子どもたちにとって“良いこと”を中心に」というご意見については私もまったく同感であり、私自身も長年教育現場にいましたが、「子どもにとって“良いこと”はする、“ダメなこと”はしない。改善すべき点は改善する」という信念を持ってやってきました。

今回、香住第二中学校の学校版教育環境会議において、アンケートという形ではありましたが、3分の2以上の方が早急にこの問題を解決するために統合をしてほしいというご意見を示されたことは、非常に大きなことだと思います。

これまで教育委員会は、もちろん行政的なことも考えなければならないため、少人数教育の充実にも軸を置いてきました。しかし、私は懇談会に参加された方々のご意見、あるいは生徒数の減少等を考慮したとき、もう少し多い人数の中で学校教育を受ける環境を、できるだけ早く整えてあげたいという感想を持ちました。

(吉田委員)

私は、今回このような懇談会の機会を設けることができ、とても良かったと思います。また、

学校版教育環境会議の時よりも多くの参加者を募り、そして多くの方のご意見を伺うことができたこの懇談会は、非常に有意義であったと思います。私たちも普段いろいろなところで、保護者の方から直接学校の状況等を聞かせていただきますが、この度このような形で保護者や地域の方々から生の声を聞かせていただき、香住第二中学校の統合問題の今後を考えていく上で重要な機会でした。

生徒の人数の問題ですが、既に出生した子どもの数がはっきりしているわけですから、今すぐにはないにしろ、生徒数が徐々に減っていく傾向にあり、今後おそらく統合に向けての話が進んでいくように感じています。

そのような中で、私には少し気掛かりなことがあります。もし香住第二中学校がほかの中学校と統合すると、現在の香住第二中学校で学んでいる生徒、香住第二中学校の校区内にある小学校で学ぶ児童など、長い間少人数の中で育ってきた子どもたちは、急に人数の多い中で学校生活を送ることになります。保護者の方の中には、そのような環境の中でもまれていくことによって、子どもたちの力がついていくと考えておられる方がいらっしゃるかもしれません。しかしながら、このような状況下に身を置くことで、精神的に大きな負担を感じてしまう児童や生徒の存在を看過してはなりません。

現在、チャレンジプラン等の成果により、小学校から中学校への接続がスムーズにできているように感じっていますが、もし香住第二中学校の統合が今後進んでいくとしたら、子どもたちの精神面でのケアについても十分配慮しながら、準備を進めていかなければならないと思います。

(安田委員)

先日の懇談会に参加させていただき、同じ世代の子どもを持つ親として、保護者の皆さん方の意見を聞かせていただきました。野村委員も話されていましたが、香住第二中学校の校区に住む保護者の皆さんにとって切実な問題としてとらえ、できる限り早急に対応していきたいと考えています。

保護者の方の意見に部活動の話が出ていましたが、統合までに2年かかるとすると、香住第二中学校に入学した新1年生が3年生になったときに統合することになります。もしその生徒が3年生から野球部への入部を希望したとしたら、夏の大会に出場できるかどうかというタイミングです。保護者の方の中には、香住第二中学校の統合先の中学校が決まったら、たとえ試合に出ることができなくても、統合先の中学校の部活動に参加させてもらうことができないだろうかという思いをお持ちの方がいます。また、幼少期から高校を卒業するときまで同じ競技等をやり続けてきたことが、大学入試等で評価されることもあります。それならば、子どもたちが幼いころからやり続けてきた好きな競技等を、途切れることなく続けさせてやりたいという切実な思いも伺っています。

統合を進めていくと同時に、授業や部活動等において、小学校で実施しているチャレンジプランの中学校版のような取組を通じ、統合先の中学校との間で交流を深めることができれば、子どもたちも統合に向け明るい気持ちで学校生活を送れるのではないかと思います。

その反面、香住第二中学校の校区内に住む方の中には、地域に根付いた中学校に思いを寄せ、その存在を心のよりどころとしている方がいらっしゃると思います。おじいさん、お父さん、子どもや子孫が、何世代にもわたり同じ校歌を歌い継いでいけることに、喜びを抱いている方もおられるかもしれません。そのような特別な思いを持つ方々にとって、香住第二中学校が統合し無くなってしまうことは、きっととても寂しいことでしょう。

私は、そのような思いの方々がいらっしゃることを十分理解した上で、その方々に「子どもたちのための統合」であることをしっかりと丁寧に訴えながら、統合を進めていただければという思いで、先日の懇談会に参加させていただきました。

(多田委員)

私も吉田委員と同様に、今回たくさんの校区民の皆さん方にお集まりいただき、教育委員である

私たちも含め、皆さん方から多くのお話が伺えたことをとても有意義であったと感じています。

普段、世間から聞こえてくる声を耳にすることはあっても、同じ会場で保護者の皆さん方や地域の方々と実際に顔を合わせ、また教育委員会の思いもある程度お伝えしながら、なおかつ直接皆さん方の生の声をお伺いできたことは、とても貴重な体験でした。

私は、学校や教育委員会が小規模校としてのメリットを生かしながらしっかりと取り組んでいることに対し、保護者の皆さん方から一定の評価と理解をいただいているながらも、やはり社会性を求めるために統合を希望している声がとても多かったことが、特に印象に残っています。また、もし香住第二中学校が統合しなかったら、町外の中学校への進学を希望されるご家庭があることに、とても衝撃を受けました。

私は、香美町で生まれ育った大切な子どもたちを、町内で育てていきたいという強い思いを持っていますので、保護者の皆さん方の気持ちをしっかりと受け止めていかなければならないと痛感しています。

ただ、今回の懇談会の参加者が78名であり、そのうち校区民の方が65名。そしてその中で発言された方は、わずか15名でした。町長からサイレント・マジョリティの話がチラッと出ていましたが、私は発言されたのが強い思いを持った一部の方に偏っていたような印象も受けました。そのような状況下であるにもかかわらず、訓谷区の区長さんは、ご自身の意見をとても勇気を持って発言してくださいました。

懇談会へ参加されなかった方を含め、今回発言されていない方の中には、おそらく香住第二中学校の存続・統合の判断についてまだ迷っていらっしゃる方、統合問題に対しとても寂しい思いを持ちながら心を痛めていらっしゃる方、やはり地域の大切な中学校を無くしたくないとお思いの方々もきっとたくさんいらっしゃるでしょう。懇談会では少し反対意見もありましたが、やはり対象となる全世帯へのアンケートは、実施するべきだと思います。私は、あの場所では出されなかった世間の声なき声を吸い上げる機会が、絶対必要であると思っています。

学校版教育環境会議についてですが、今後は保護者を含め地域の方々はその意図についてしっかりとお伝えしていくことが重要であると考えています。学校版教育環境会議は、現在の学校の取組を知っていただくために行うと同時に、小規模校についてはこれから先のことをどうするかについて、保護者や地域の方々から意見を集約するための会議でもあります。そのため、その会議の場においてアンケートをとられたわけですが、先日の懇談会で保護者の方から意見があったように、私はその趣旨がもう一つ住民の方々に伝わっていなかったのではないかと感じています。

最後になりますが、もし今後統合に向け舵を切ることになるとすれば、できる限り早く統合できるように準備を進めたとしても、約2年程度の期間が必要となります。安田委員もおっしゃっていましたが、その期間中の香住第二中学校の校区の児童・生徒の学校生活をフォローするような取組が必要ではないでしょうか。例えば社会性を高めるための取組や、部活動だけではなく授業や学校行事において、合同で大勢の中で活動や学習するような機会を設け、保護者の方々の不安を少しずつでも払しょくするような取組も大切だと感じました。

(教育長)

私は、皆さんの思いはあの会場の思いであると正直に受け取っています。ただ私自身、現時点において、統合ありきの状況下で子どもたちに授業をすることはマイナスであろうと思います。

子どもたちは、卒業するまで、そして統合するまでは香住第二中学校の生徒です。まずそのことをしっかりと押さえた上で、先生方には生徒たちへしっかりと勉強を教えてやってほしい、そして精一杯運動をさせてやってほしいと強く願っています。

それと同時に、懇談会の場においてご参加いただいた15名の方から貴重なご意見をいただきましたが、ほかの皆さん方のご意見についてはまだお聞きしておりません。私は、拙速に統合という

答えを出すのではなく、地域の皆さん方の声を吸い上げながら進めていきたいと考えています。

たとえ統合することになったとしても、地域に住む皆さんや保護者の方々からの幅広いご意見にしっかりと耳を傾けるとともに、教育委員の皆さん方から伺ったことを大事にしていきます。

来年の2月に開催予定の総合教育会議において、香住第二中学校の存続もしくは統合についての方針が決定することになると思います。先ほど吉田委員やほかの委員からの発言にもありましており、もしも統合する方針が決まった場合は、統合するまでの準備期間において統合先の中学校との交流についても深めていきたいと考えています。そして私たちは、一人でもたくさんの人から「統合して良かった」と言ってもらえるような方法を模索しなければなりません。

この協議を通じ、委員の皆さん方から出されたことを、私たち自身もしっかりと胸に秘めて、そしてまた皆さん方に返していきたいと思っております。これからも忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(野村委員)

先ほど話した際に、私の意見が十分伝えきれていなかったかもしれませんので、再度発言させていただきます。

懇談会において、発言されなかった方がいらっしゃったことはもちろんあります。しかしながら、直ちに統合を望むような、かなり切迫感を持った雰囲気の中で発言された保護者の方がいらっしゃいました。親にとって1回きりの子育てであるとともに、子どもにとっても1回限りの中学校生活です。

そんな保護者の方の切なる声に答えるべく、先ほど私の意見を申し上げました。ただ、この問題については、教育長もおっしゃられたとおり拙速な判断はできませんし、適当に結論を下してはいけません。今後、アンケート等を通じてしっかりとした議論を積み上げながら、適切な手順により環境を整えた上で、保護者の皆さん方の期待にも応えさせていただきたいと思っております。

(教育総務課長)

今回、香住第二中学校の校区全体で懇談会を開催しましたが、今後、奥佐津・佐津小学校区のような、さらに細かい単位における懇談会を実施することについて、委員の皆さん方のご意見をお聞かせください。

(野村委員)

先日の懇談会において、保護者の方々を含め、地区の皆さん方へ丁寧呼び掛けを行ったように思いますので、意見は十分いただけているのではないのでしょうか。

(教育総務課長)

それでは、新たに懇談会は開催せず、今後は教育委員会によるアンケート調査を実施した上で、総合教育会議へ臨ませていただく予定とさせていただきますので、ご理解を賜りたいと思っております。

(安田委員)

もう1点だけ発言させてください。

懇談会で発言をされた保護者の方から、「小学校の教育環境会議のアンケート調査の集計結果が中学校に伝わっていないのでは」というご意見がありました。その発言にあったように、小学校において出される意見の中には、小学校の統合のことだけではなく、いずれ進学することになる中学校に対し保護者の方が何を希望しているのかなど、貴重な内容が含まれているように思います。

このような貴重なご意見を小学校内だけで留めるのではなく、教育委員会はもちろんのこと、中学校にも反映していただくことが必要ではないのでしょうか。

今後中学校の保護者となる方々の気持ちを、しっかりとすくい上げなければならないと思います。

(教育長)

小中学校の連携ですね。

(安田委員)

その通りです。そのことが少し気になりました。

(吉田委員)

私もそのことは感じていました。

小代区では、いつも小学校と中学校の教育環境会議が一緒に行われています。そのため、小学生の保護者、中学生の保護者、両方の子どもがいる保護者、そして地域の方々みんなの意見を同じ会場内でお互いに聴き合うことができます。

香住第二中学校の場合は、校区内にある小学校とは別々に教育環境会議を実施しているので、意見の共有は難しいと思います。今後は、小中学校が連携し、お互いの意見が共有し合えるようになることが大切なのではないでしょうか。

(教育長)

なるほど。小代の小中学校は、教育環境会議を一緒に実施しています。この方法であれば、中学校の先生に小学生の保護者の意見が伝わり、小学校の先生に中学生の保護者の意見が伝わります。このような意見のやり取りは、非常に大切であると思います。

(教育総務課長)

奥佐津小学校と佐津小学校の教育環境会議のアンケート結果については、香住第二中学校に提供させていただきます。

(教育長)

アンケート結果の共有は、学校の存続や統合の問題について検討するときだけでなく、小中学校の連携や幼稚園と小学校との連携においても大変意義のあることだと思いますので、今後は同様の対応とさせていただきます。

7 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○ふるさと給食試食会について

→11月17日(日)に射添小学校の体育館で実施し、205食を提供

→アンケート結果の報告

○ふるさと野菜の中間報告について

→地元産のふるさと野菜の使用量は、重量ベースで29.6%(10月末現在)

→前年度実績：32.9%

○学校給食表彰について

→団体の部において「長井ふれあい朝市」が兵庫県教育長より表彰される。

○柴山小学校校舎大規模改修工事の請負変更契約について

→請負変更契約の内容及び概要について説明

→12月定例議会において委任専決として報告予定

→当初の契約額から206万3,600円増額

(変更後契約額：2億5,451万3,600円)

→変更契約の内容：空調機器仮設の増額、職員トイレの洋式化改修の増額

(2) こども教育課・・・報告者：こども教育課長

○学校訪問について

→6月7日(金)の香住幼稚園からスタートし、11月26日(火)の余部小学校・幼稚園を最後に町内全学校園所の訪問が終了

→令和2年度は、香住子育て・子育て支援センター及び教育相談センターに訪問予定

○各種調査訪問等について

→学校園所(保育所：1、幼稚園：4、小学校：5、中学校：2箇所)の備付表簿について調査訪問

→県教育委員会による学校訪問・・・新任管理職激励訪問、管理主事訪問等

○学校魅力化フォーラムにおける事例発表について

→文部科学省の招へいにより、11月1日(金)に開催された学校魅力化フォーラムにこども教育課長が出席。小規模校を存続した上での活力ある学校づくりを推進している自治体の代表として、「小規模校同士の学校間連携による多様な学習活動の展開」と題し、スーパー連携チャレンジプランのを中心として発表

→統合による学校づくりの推進については、小国町教育委員会(山形県)が「統合へのプロセスと統合の成果と課題」と題し発表

→12月5日(木)～6日(金)に文部科学省がスーパー連携チャレンジプランの実践的な取組について調査訪問

【質疑内容】

(野村委員)

先日、余部小学校の学校訪問に初めて参加し、複式学級の授業を拝見しました。

これまでの自分の認識とは全く違い、1人の先生が2学年の教育内容をうまく整理し、それぞれの学年の進行具合に配慮しながら、要所をきっちりと押さえて授業の充実を図っておられました。

おそらく先生方自身が、授業のための準備に積極的に取り組むとともに、研究会等を何度も重ねた上で授業に臨んでいる成果がここに表れているのではないかと感じました。

来年度以降は、町内の学校園にできる限り満遍なく訪問させていただき、認識をより深めた上で、自分の意見や感想を申し上げるべきだと思いました。

(こども教育課長)

ありがとうございます。

(安田委員)

こども教育課長の報告において、来年度の訪問先として教育相談センターが挙げられていました。私も以前から教育相談センターのことが気になっていたため、その機会にぜひとも見ておくべき施設だと思っています。

今後、香住文化会館の建替え工事が進み、教育相談センターがその中に入りますが、スムーズに移転が完了するよう、対応をよろしくお願いします。特に人の出入りが多い場所に移転することになりますので、教育相談センターの利用を希望される方々が、人目を気にすることなく活用できるよう、構造上の工夫等にも十分配慮していただきたいと思います。

(教育長)

来年度に教育相談センターを訪問する際は、その機能を中心として委員の皆さん方に紹介したいと思います。

(こども教育課長)

来年度は、教育相談センターを移転するための予算を計上します。その時期までに、委員の皆さま

ん方にもぜひ教育相談センターを訪問していただくとともに、皆さん方からご指摘いただいたご意見や課題などがそこに十分生かせるよう、課内でもよく検討していきたいと思ひます。

(教育長)

教育相談センターもそうですがそのほかの施設についても、委員の皆さん方から訪問のご希望がございましたら、早めに事務局へご一報いただきたいと思ひます。

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○第14回香美町ふるさと教育交流会について

→11月17日(日)に射添体育館で開催し、約400人が参加

→県立出石特別支援学校みかた校など5団体が実践発表

○香住文化会館整備工事「安全祈願祭」について

→11月29日(金)に開催。令和3年3月竣工予定

○日本体育大学・香美町連携事業「陸上教室」について

→特別講師として別府健至氏(日本体育大学教授)を招き、11月30日(土)に射添体育館、12月1日(日)に香住B&G海洋センター体育館で開催

8 その他

【質疑内容】

(安田委員)

香住文化会館の整備工事についてお伺ひします。

以前、水銀灯が点灯していた時は、周囲の道路も明るく照らされていましたが、現在は、水銀灯が無い上にLED照明自体も工事現場側に付いているため、その周辺が真っ暗になっています。

その付近に交差点がありますが、夜になると特に視界が悪くなるため、歩行者や自転車にとって危険な状態であると聞きました。

現場がどのような状況であるか、一度確認していただけますでしょうか。

(教育長)

はい。確認して早急に対応します。

○12月の定例会について

日時：12月23日(月) 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○令和2年1月の定例会について

日時：令和2年1月29日(水) 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○令和2年2月の定例会及び「教育総合会議」について

日時：令和2年2月21日(金) 午後1時30分～

会場：香美町役場3階 庁議室

※定例会終了後、午後3時30分から同会場で「総合教育会議」を開催予定

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

令和元年11月29日

教育長 藤原健一

香美町教育委員会 署名委員 多田好江

会議録作成者：教育総務課 主査 大城 優